

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 74.2%, 県 66.9%)		対県比	111%
領域別平均通過率		学力定着実態調査 本年度正答率	
		本校 71.8% 全国 68.3%	対全国比
		全国学力・学習状況調査 本年度正答率	
		A問題 本校 68% 全国 64.6% 県 64%	B問題 本校 53% 全国 48.4% 県 48%
		来年度(全国学力学習状況調査)の目標値	対全国比
			110%

本年度の結果について

(基礎基本) タイプIIより, タイプIの方が, 対県比で正答率が低い。
 (全国) A問題, B問題ともに正答率は全国平均, 県平均を上まわっている。領域別では「資料の活用」における正答率が全国及び県の正答率より低い。他の3領域はどれも全国及び県の正答率を上まわっている。

重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)
「基礎・基本」定着状況調査 【課題1】 問2 (1) 「文字式の表し方」(単位あたりの量に対する割合を, 文字を使って表すことができていない。) (通過率 35.0%) 【課題2】 問6 (1) 「円錐と円柱の体積の関係」(円柱と円錐の体積の関係がわかっていない。) (通過率 57.3%) 全国学力・学習状況調査 【課題1】 「長方形の縦の長さとの面積の関係」(関数の意味が理解できていない。) (正答率 16.4%) 【課題2】 「資料の範囲を求める」(範囲の意味が理解できていない。) (正答率 11.0%)	「基礎・基本」定着状況調査 【課題1】 目標値 (60%) 実施後数値 (%) 数や量を表すとき, 1単位あたりの量との割合で表すことを, いろいろな場面で行っていく。 【課題2】 目標値 (67%) 実施後数値 (%) 円錐, 球, 円柱の体積の関係をつかませ, その関係の表し方を比だけでなく分数でも表せるように指導する。 全国学力・学習状況調査 【課題1】 目標値 (60%) 実施後数値 (%) 関数の単元において, 2つの伴って変わる数で何が何の関数であるか理解させる。2, 3年生においては「関数」の意味を再確認する。 【課題2】 目標値 (60%) 実施後数値 (%) 「資料」を扱う単元で, ドリルなど行い基礎的な用語について理解の定着をはかる。

※今後の改善計画については別紙